

令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	48	学校名	静岡県立藤枝北高等学校	校長名	鈴木 浩
------	----	-----	-------------	-----	------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	学ぶ意欲を引き出し、基礎学力の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業が分かると答える生徒の割合 85%以上根拠</li> <li>・授業で力がついたと答える生徒の割合 85%以上</li> <li>・授業や学習に積極的に取り組んでいると答える生徒 85%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業が分かると答えた生徒の割合 87.2%、授業で力がついたと答えた生徒の割合 91.5%や学習に積極的に取り組んでいると答える生徒の割合 86.0%で全ての成果目標を達成できた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内での学習する態度や授業を受ける姿勢はよい。家庭学習に関しては生徒に差があることが今後の課題である。</li> <li>・系列や実習科目において生徒は大変前向きに取り組んだ。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業改善を目的とした教員研修の回数 年2回以上</li> <li>・全教員が研究授業を参観する回数 年1回以上</li> <li>・先生は「教え方」や「教材」に工夫をしていると答える生徒の割合 75%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導主事訪問時などを含め概ね達成できた。</li> <li>・先生は「教え方」や「教材」に工夫をしていると答える生徒の割合 92.0%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月にICTを活用するための全体研修を実施し、9月には指導主事訪問で授業配慮に関する研修を実施した。</li> <li>・それぞれが実施している授業の内容の共有、研究授業の指導案の検討、実施を通して、効果的な指導について研究することができた。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の本の貸出冊数 年間 1400 冊以上</li> <li>・年間読書冊数 5 冊以上の生徒の割合 50%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の貸し出し冊数 1357 冊。</li> <li>・年間読書冊数 5 冊以上 55.1%。（ともに1月時点）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書の時間は全校一斉の日課であるため、生徒に集中して読書をさせる環境を整える必要がある（読書以外のことはしない）。</li> </ul>
イ	キャリア教育を充実させることにより、生徒一人一人が希望する進路の実現を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路希望達成率 100%</li> <li>・「藤北ドリカムノート」を活用し、自己の目標達成に向けて頑張っていると答える生徒の割合 60%以上</li> <li>・進路について考えていると答える生徒の割合 85%以上</li> <li>・「産業社会と人間」の時間が充実していると答える生徒の割合 70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の進路希望は 100%達成。</li> <li>・「藤北ドリカムノート」を活用し、自己の目標達成に向けて頑張ったと答えた生徒の割合 78.0%。</li> <li>・進路について考えていると答えた生徒の割合は 80.2%。</li> <li>・従来の在り方を検討し、単元の順番の入れ替えや当事者意識を持たせるワーク等を取り入れ、計画の見直しを</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路達成率は概ね良かったが、もう少し広い視野で進路先を見据える意欲的な部分が欠けていたように思えた。</li> <li>・ドリカムノートを日常的に利用する指導が活かされ、高い達成率につながった。ただ、担任間での差が認められることから、学年集会などで利用する機会を設定するなどにも取り組んだ。</li> <li>・今の時代に合わせた内容の精選については今後も引</li> </ul>

			行うことができた。		き続き行っていきたい。
ウ	基本的な生活習慣の確立と規範意識の高揚を図るとともに、心身の健康を維持・促進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつがしっかりできていると答える生徒の割合 90%以上</li> <li>・服装や身だしなみがしっかりできていると答える生徒の割合 90%以上</li> <li>・学校生活が充実していると答える生徒の割合 85%以上</li> <li>・部活動が充実していると答える生徒の割合 70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつがしっかりできていると答える生徒の割合 97%</li> <li>・服装や身だしなみがしっかりできていると答える生徒の割合 99%以上</li> <li>・学校生活が充実していると答える生徒の割合 92%以上</li> <li>・部活動が充実していると答える生徒の割合 80%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非常に良好。特に1年生の評価が高く、他校比較でも優れている。一方で、生徒の自己評価と実態に差を感じる声もある。</li> <li>・概ね良好だが課題あり。スカート丈等は落ち着いているが、化粧、ピアス、頭髪等の加工が目立つ。校外行事での緩みも懸念材料として挙げられる。</li> <li>・目標は達成。統合によるプラス効果がある一方、微減の理由（意欲の差や全員加入制の是非）に注視が必要である。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりの発行回数 年8回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健だよりは12月までに8号まで発行している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通り実施でき、生徒の健康維持・増進に寄与できている。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は悩みの相談にきちんと対応してくれていると答える生徒の割合 80%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校は悩みの相談にきちんと対応してくれていると答える生徒の割合 88%</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「担任のスピード感」と「SCを含めた多職種連携」が機能している点が大きな強みである。</li> </ul>
エ	総合学科における魅力的な新しい実学教育を展開する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活が充実していると答える生徒の割合 85%以上</li> <li>・資格取得や検定合格等にむけて意欲的に取り組んでいると答える生徒の割合 60%以上</li> <li>・外部人材を活用した授業等の回数 年30回以上</li> <li>・「総合的な探究の時間」が充実していると答える生徒の割合 60%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校生活が充実していると答える生徒の割合 92.0%。</li> <li>・資格取得や検定合格等にむけて意欲的に取り組んでいると答えた生徒の割合 86.2%で目標達成。</li> <li>・外部人材を活用した授業等は36回実施で目標達成。</li> <li>・「総合的な探究の時間」が充実していると答えた生徒の割合 74.5%で目標達成。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実している。主体性や相談態度は高く評価できる。ただし、92%を「まだ改善の余地あり」と厳格に捉える視点も必要と感じる。</li> <li>・資格取得は漢字検定、数学検定や農・工・商も力を入れている。</li> <li>・外部人材活用授業は専門機関や企業、上級学校など様々な外部人材を活用している。</li> <li>・1年生は、探究の手法について学び、2年生は、AIを活用した探究活動ができた。3年生は、自己を見つめ、成長していく活動ができた。</li> </ul>

様式第3号

オ	防災教育、安全教育、環境教育の充実を図る。	・防災関連の学校行事を年3回以上実施する。	・防災関連の学校行事を3回(避難訓練2回、防災講話を1回実施した)。	A	・校内での訓練や講話を実際の場面で活かせるような取り組みにしていきたい。
		・交通安全講話等の受講 年2回以上 ・交通ルールやマナーを守って登下校することができる生徒の割合85%以上	・交通安全講話を2回実施した(R6は1回)ため、目標は達成した。 ・交通ルールやマナーを守って登下校すると答えた生徒の割合99%	A	・講話回数を増やし、学校周辺の危険箇所を具体的に示した指導は効果的。 ・生活安全委員会による積極的な活動や、先生方の街頭指導が、生徒の意識向上に寄与している。
		・掃除にきちんと取り組んでいると答える生徒の割合90%以上	・掃除にきちんと取り組んでいると答える生徒の割合98.0%で目標達成。	A	・生徒は前向きに清掃活動を行っているが、さらに主体的に取り組めるよう促したい。
カ	広報活動の推進を図り、保護者・地域との連携を深める。	・ホームページ更新回数 週3回以上	・ホームページ更新は週4回実施で目標達成できた。	A	・生徒の日頃の授業や各活動を切り取ったコンテンツは閲覧されている方からの評価が高いことも聞いている。
		・一日体験入学参加・授業公開日におけるアンケートで「参考になった」と回答する生徒・保護者の割合75%以上 ・PTA総会への保護者の出席率30%以上	・一日体験入学参加・授業公開日におけるアンケートで「参考になった」と回答した割合は、中学生96.2%、保護者の割合96.6%。 ・PTA総会への保護者の出席率28.7%であった。	A	・中学生一日体験入学、授業公開日のアンケート結果は目標に達した。今後さらに満足度を上げられる内容を検討していく。 ・PTA総会の出席率は目標を下回ったが、PTAの役員は積極的に活動に参加している。
キ	学校事務の適正な執行を図る。	・仕事の効率化と業務の見直しを図っているまたは図ろうとしていると答える事務職員の割合80%以上 ・学校経営予算の執行率1月末80%以上	・仕事の効率化と業務の見直しを図っていると答えた職員の割合83%。 ・契約(支出負担行為)済も含め、80%は達成する見込みである。	B	・スプレッドシートを活用し、教員とのデータ管理の向上を図った。事務室のフォルダ(校務系サーバ内)の整理をし、アクセスしやすいものとした。 ・年度末に向けて執行率を100%に近づけていきたい。

様式第3号

ク	<p>教職員の多忙化解消を推進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーレス化とCラーニングの活用により業務改善したと答えた教職員の割合が70%以上</li> <li>・教職員の夏季休暇取得率 100%</li> <li>・時間外在校時間が削減できたまたは、時間外在校時間はほとんど無いと答える教職員の割合 70%以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善を図ったと答えた割合は46.7%</li> <li>・夏季休暇取得 100%</li> <li>・時間外在校時間が削減できた又はほとんど無いと答えた割合は40.0%</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善を図ったと答えた割合が46.7%に留まった。慣れた紙ベースの業務から抜け出せない原因の一つに、ICTスキル不足が挙げられる。個人差があるため校内研修などを通してスキルアップを図っていききたい。</li> <li>・夏季休暇取得 100%達成</li> <li>・職場での働き方改革の改善を図るとともに、職員の意識を高めていききたい。</li> </ul>
---	------------------------	--	---	---	---